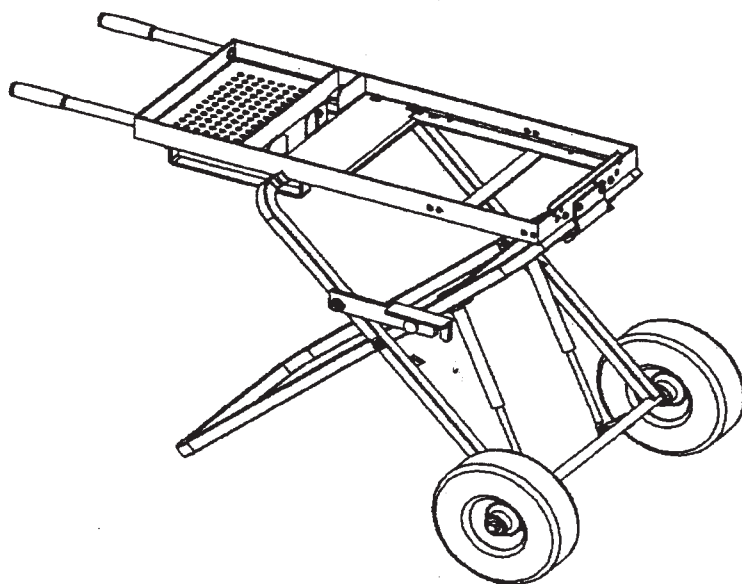
REX

パイプマシン台車50A
パイプマシン台車80A

取扱説明書

ご使用前に必ず
お読みください

－お願い－

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになってください。
- なお、この取扱説明書は、お使いになる方が必要なときにいつでも見られるところに大切に保管してください。

購入年月:　　　　年　　　月

お買上げ店名:

・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全にご使用いただくために」の項目を必ず守ってください
・ご使用前に、この「安全にご使用いただくために」の項目すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
・この取扱説明書に記載されていること以外の取り扱いをしないでください。

目　次

⚠警　告，⚠注　意，の意味について

この取扱説明書では、注意事項を ⚠警　告 と ⚠注　意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警　告：誤った取り扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容をしめします。

⚠注　意：誤った取り扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が　想定される内容をしめします。

なお、「⚠注　意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので必ず守ってください。
・この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社の代理店・販売店にご注文ください。
・品質、性能向上あるいは安全上、予告なく使用部品や仕様の変更を行う場合があります。その際には本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

一般的な注意項目

⚠ 警　告

① 使用電源は正しい電圧で使用してください。

・必ず本体の銘板に、もしくは取扱説明書に定格表示してある電圧でご使用ください。
表示電圧以外の電圧で使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあります。

② 差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。

・スイッチがONの状態で差し込みプラグを電源に差し込むと、急に機械が動きだし思わぬ事故につながります。必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。
事故やケガの原因になります。

③ 感電に注意してください。

・濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。
・雨中や機械内部に水の入りやすい所では使用しないでください。
・アースは必ず接地してください。
感電の恐れがあります。

④ 作業場での周囲状況も考慮してください。

・雨中、湿った場所、濡れた場所、機械内部に水の入りやすい場所などでは使用しないでください。　湿気はモータの絶縁を弱めたり、感電事故のもととなります。
・ガソリン、シンナーなど、可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。
引火、爆発の恐れがあります。

⑤ 保護メガネを使用してください。

・作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。　切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑥ 加工するものをしっかりと固定してください。

・加工するものを固定するために、取扱説明書に記載された方法でしっかりと固定してください。固定が不十分な場合は、事故やケガの原因になります。

⑦ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

・取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。　事故やケガの原因になります。

⑧ 完全な停止を確認するまで、刃物や回転部には絶対に触れないでください。

・運転中はもちろん、スイッチを切っても少しの間、刃物類は慣性で動きますので、動いている間は絶対に刃物や回転部に触れないでください。
・刃物の交換等で刃物や回転部に触れる場合は、本体のスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて作業を行ってください。プラグが差し込まれたままだと、不意に作動して事故やケガの原因になります。

一般的な注意項目

⚠ 警　告

⑨ 次の場合は、本体のスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。

・使用しない、または、部品の交換、修理、掃除、点検をする場合。
・刃物などの付属品を交換する場合。
・その他危険が予想される場合（停電の際も含みます）。
　プラグが差し込まれたままだと、不意に本体が作動して、ケガの原因になります。

⑩ 異常を感じたらすぐに運転を中止してください。

・運転中、機械の調子が悪かったり、異臭や振動、異常音などに気がついた場合は直ちに機械の運転を中止してください。
・取扱説明書の「修理・サービスを依頼される前に」の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示にしたがってください。　そのまま使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあり、事故やケガの原因となります。
・本体が発熱したり、発煙した場合は、むやみに分解せず、点検・修理に出してください。

⑪ 作業場は、いつもきれいに保ってください。

・作業台、作業場所は常に整理整頓を心がけ、十分明るくしておいてください。
　ちらかった場所や作業台は事故の原因になります。

⑫ 作業関係者以外は近づけないでください。

・作業者以外、本体や電源コードに触れさせたり機械の操作をさせないでください。
・作業者以外、作業場へ近づけないでください。特に、子供には十分注意してください。
　ケガの原因になります。

⑬ 無理して使用しないでください。

・指定用途以外には使わないでください。安全に能率よく作業するために、本体の能力に合った作業をしてください。　無理な作業は製品の損傷をまねくばかりでなく、事故の原因となります。
・モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
　発煙、発火の恐れがあります。

⑭ きちんとした服装で作業してください。

・ネクタイ、そで口の開いた服、編手袋、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。　回転部に巻き込まれる恐れがあります。
・屋外での作業の場合にはゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
　すべりやすい手袋や履物は、ケガの原因になります。
・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
　回転部に巻き込まれる恐れがあります。
・作業環境により、保安帽、安全靴等を着用してください。

⚠ 警　告

⑮ 無理な姿勢で作業をしないでください。

・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒してケガの原因になります。

⑯ レンチなどの工具類は、必ず取り外してください。

・スイッチを入れる前に、点検・調節に用いた工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままで作動させると、事故やケガの原因になります。

⑰ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

・取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。
注意を怠ると、事故やケガの原因となります。
・常識を働かせてください。
・疲れているとき、酒を飲んだとき、病気や薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない場合は、使用しないでください。　事故やケガの原因となります。

⑱ 電源コードは乱暴に扱わないでください。

・コードを持って製品を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりしないでください。
・コードを高熱のもの、油脂類、刃物類、角のとがった所に近づけないでください。
・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、配線する場所に注意してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑲ 日頃から注意深く手入れをしてください。

・安全に能率よく作業していただくために、刃物類はいつもよい切れ味の状態でお使いください。　刃物が用途に合っていなかったり、摩耗したり、損傷した状態で使用すると、モータや本体に負担がかかり発熱、発煙、発火の恐れがあるほか、ケガの原因にもなります。
・付属品や刃物の交換は、取扱説明書に従ってください。
・電源コードや差し込みプラグは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。また、屋外で使用する場合には、屋外使用に合った延長コードを使用してください。　感電や、ショートして発火する恐れがあります。
・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。　すべって、ケガの原因になります。

一般的な注意項目

⚠ 警　告

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

・使用する前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
・差し込みプラグやコードが破損している機械は使用しないでください。
　感電や、ショートして発火する恐れがあります。
・スイッチで始動および停止操作のできない機械は、使用しないでください。
・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。

㉑ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

・乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。

㉒ 機械の分解・修理は、専門店に依頼してください。

・当社の製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い求めの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
　修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。

超硬カッタご使用上の注意!

⚠ 警　告

① 超硬カッタを取り付けるときや刃物の交換のときは、十分気をつけてください。

・超硬カッタを取り付けるときは、機械のスイッチをOFFにし、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。超硬カッタのスイッチをOFFにしてください。
誤って電流が流れると刃物が回転し、事故やケガの原因になります。

・超硬カッタを取り付けるときには、刃物の「刃先」の部分を持たないようにしてください。　事故やケガの原因になります。

・刃物は、取扱説明書に記載してある純正品を使用してください。
指定以外の刃物を使用すると、事故やケガの原因になります。

② 超硬カッタの電源は、必ずAC100Vで使用してください。

表示より低い電圧で使用されると、モータ焼損の原因となり、また、表示を越える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、機械の故障や事故、ケガの原因になります。

③ セフティカバーが正常に動くか確認してください。

・セフティカバーは、常に円滑に動くことを確認してください。
刃物が露出したままですと、事故やケガの原因になります。

④ 長尺パイプの切断には、パイプ受台を使用してください。

・材料の切り落とし側が長いときは、切り落とし側に安定性のよい台を設けてください。
・切り落とし寸前や切断中に、材料の重みで刃物が挟み込まれないように受け台を設けてください。
パイプ受台がないと、刃物が挟み込まれ、回転が停止したり、刃物が破損したりと、機械の故障や事故、ケガの原因になります。

⑤ 切断時に本体をパイプに押し付けないでください。

超硬カッタは自重によってパイプを切断します。押し付けると刃物や本体を破損させるだけでなく、事故やケガの原因になります。

⑥ 使用中は、刃物、回転部、切粉排出部に手や顔を近づけないでください。

事故やケガの原因になります。　また、安全のため保護メガネを着用してください。

⑦ シリースモータ使用の関係上、通風孔を開けておりますので、ふさぐことのないようにしてください。

通気が悪いとモータが熱を持ち、発火したり、事故やケガの原因になります。

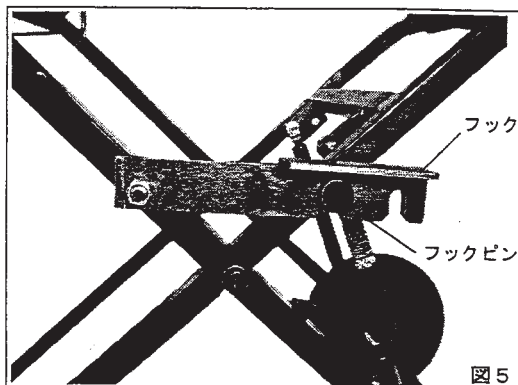
作業手順

【本機にパイプマシンを載せる】

1．フックをフックピンに掛けてください。(図５)

図５

⚠ 警　告

フックピンがフックの溝部に入っていることを確認してください。
フックはフックピンに掛けないとケガ及び機械の破損の恐れがあります。

2．パイプマシンを本機に載せてください。。
パイプマシンのチャック側を本機の持ち手側に向けてください。(図６)

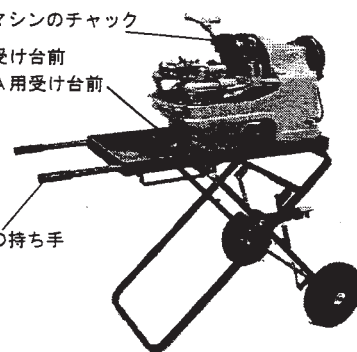
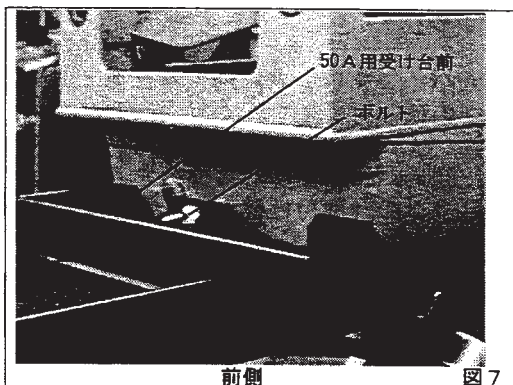



図６

3．50Ａパイプマシンを載せたときは、50Ａパイプマシンを50Ａ用受け台及び50Ａ用前板にボルトで固定して下さい。(図７，８)
80Ａパイプマシンを載せたときは、同様に80Ａパイプマシンを80Ａ用受け台前及び80Ａ用受け台後にボルトで固定してください。

⚠ 警　告

パイプマシンを必ず３本のボルトで固定してください。
固定しないとケガ及び機械の破損の恐れがあります。

⚠ お願い

３本のボルトはパイプマシンに付属しているボルトを使用してください。
ボルトを紛失したときは、市販のM8蝶ボルト 長さ40mmをお使いください。

前側　図７

後側　図８

【本機の移動】

1. フック(図5参照)を上げてフックピンから外します。
   次に持ち手を押し下げて台車を下げます。(図9)

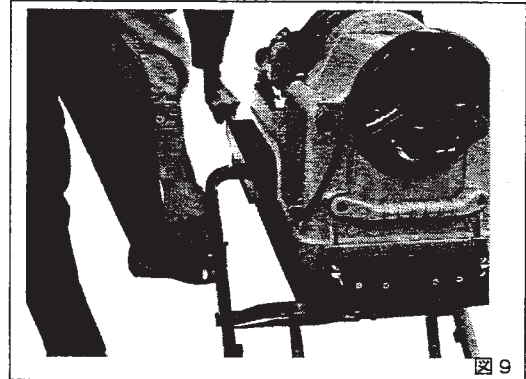
図9

2. 台車が下がった状態でフックの先端側の溝をフックピンに掛け下ろします。(図10)

図10

⚠ 警 告

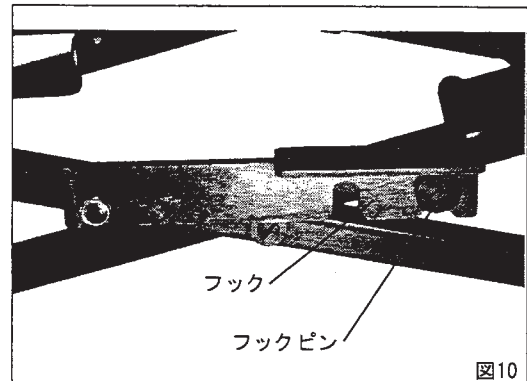
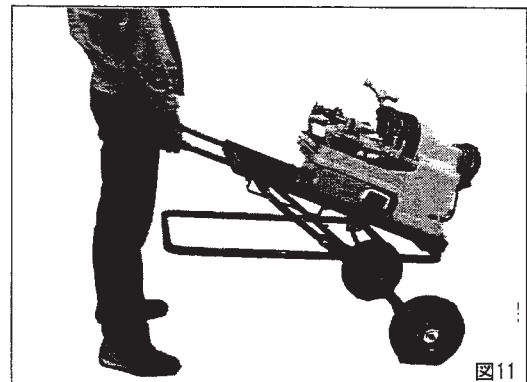
フックをフックピンに掛けないとケガ及び機械の破損の恐れがあります。

3. 本機の移動は両方の持ち手を持って、静かに移動してください。(図11)
   ・片手で持ち手を持ち上げないでください。

図11

⚠ 警 告

本機の移動は無理な姿勢で行うとケガの恐れがあります。
また、傾斜面やぬかるんだ地面での移動は転倒の恐れがあるので行わないでください。

1．本機の点検を行い、ネジ類のゆるみなどや異常箇所がないことを確認してください。

2．タイヤの空気がぬけていたり、パンクしていると、左右のバランスが悪くなり危険なので注意
してください。
空気がぬけていたりパンクしているときは、ガソリンスタンドで空気を充填またはパンク修理
してください。その場合、タイヤの空気圧は0.2MPaになるように充填します。
（ホームセンターなどに売られているエアーコンプレッサー又は空気入れで使えるものがあり
ます。タイヤの空気圧は0.2MPaになるように充填します。）

修理をご依頼のときは

本機は、専用の測定器類を用いて製造、調整されています。もし正常に作動しなくなった場合には、決して自分で修理をせず、下記のところにご依頼ください。

最寄りの
- レッキス製品取扱店
- レッキス工業営業所（裏表紙参照）
- レッキステクノサービス部　072-963-1960

その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上でご不明の点がありましたら遠慮なくお問い合わせください。

⚠ 注　意
・ 弊社が認めた人以外の人による修理で発生した人身事故、または機器の破損について責任は負いません。
・ 有害物質または放射線などに汚染された機器の修理は行いませんので、ご容赦ください。

メンテナンス部品の保有期間について	本製品のメンテナンス部品の供給は製造停止後７年とします。ただし電子部品は５年とします。

レッキス工業株式会社

東京支店	〒170-0013	東京都豊島区東池袋3丁目13番8号	Tel.03(3980)5341
大阪支店	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(965)9811
札幌営業所	〒006-0832	札幌市手稲区曙2条4丁目3番31号	Tel.011(682)3711
仙台営業所	〒984-8651	仙台市若林区卸町3丁目1番13号	Tel.022(232)1697
東京営業所	〒170-0013	東京都豊島区東池袋3丁目13番8号	Tel.03(3980)5341
前橋営業所	〒371-0846	群馬県前橋市元総社町932番8号	Tel.027(253)8691
神奈川営業所	〒243-0804	神奈川県厚木市関口150番地の1	Tel.046(245)3981
名古屋営業所	〒454-0806	名古屋市中川区澄池町9番3号	Tel.052(351)1551
大阪営業所	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(965)9811
高松営業所	〒760-0072	高松市花園町3丁目7番22号	Tel.087(834)3982
広島営業所	〒734-0022	広島市南区東雲2丁目15番11号	Tel.082(284)8085
九州営業所	〒816-0082	福岡市博多区麦野3丁目18番26号	Tel.092(583)1110
本社	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋1丁目4番5号	
工場	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	

お客様相談窓口 0120-475-476
受付時間：月～金・9:00～12:00 13:00～17:00

●商品の仕様は予告なく変更することがあります。
●この取扱説明書は再生紙を使用しています。